

平成30年度 秋田県立大館鳳鳴高等学校 3学年地理歴史科シラバス

日本史 B

I 学習の到達目標

1. 我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察する。
2. 我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培う。
3. 国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
4. 日本史科目が世界をとらえるうえで重要であることを理解するとともに、世界の諸問題に対して考え自分の意見を言える力を身に付ける。

使用教科書・副教材等：詳説日本史改訂版(山川出版社)、最新日本史図表(第一学習社)

月	学習内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
4	第6章 幕藩体制の確立 3 幕藩体制の成立	近世初期の文化に対して関心を持ち、現代で見られる文化と比較して意欲的に学習している。文治政治への転換と幕政改革の断行、町人文化の形成の特質に対する関心と課題意識を高め、意欲的に学習している。	近世の文化や制度を多面的・多角的に考察できる。文治政治への転換と幕政改革の断行、町人文化の形成の特質から課題を見いだし、欧米列強のアジアへの進出とその影響、その後の対外関係や支配構造の変化と関連付けて、考察し、適切に表現している。	近世初期の文化を、現存する文献・絵画・地図などの諸資料の活用を通して、歴史的事象を追う方法を身に付けている。文治政治への転換と幕政改革の断行、町人文化の形成の特質に関する諸資料の活用を通して、歴史的事象を追う方法を身に付けている。	近世初期の文化について基本的な事柄と文治政治への転換と幕政改革の断行、町人文化の形成の特質についての基本的な事柄を欧米列強のアジアへの進出とその影響、その後の対外関係や支配構造の変化と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。
5	第7章 幕藩体制の展開 1 幕政の安定 2 経済の発展 3 元禄文化 第8章 幕藩体制の動揺 1 幕府の改革 2 幕府の衰退 3 化政文化	幕政改革の断行、町人文化の形成の特質に対する関心と課題意識を高め、意欲的に学習している。	幕政改革の断行、町人文化の形成の特質から課題を見いだし、欧米列強のアジアへの進出とその影響、その後の対外関係や支配構造の変化と関連付けて、多面的・多角的に考察している。	幕政改革の断行、町人文化の形成の特質に関する文献、絵画、統計・グラフなどの諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追う方法を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現している。	幕政改革の断行、町人文化の形成の特質についての基本的な事柄を欧米列強のアジアへの進出とその影響、その後の対外関係や支配構造の変化と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。
6	第9章 近代国家の成立 1 開国と幕末の動乱 2 明治維新と富国強兵 3 立憲国家の成立と日清戦争 4 日露戦争と国際関係 5 近代産業の発展 6 近代文化の発達	幕藩体制が崩壊し、中央集権体制へ移行した過程と、近代国家に発展したことによる弊害について課題意識を高め、意欲的に学習している。	幕藩体制が崩壊し、中央集権体制へ移行した過程と、近代国家に発展したことによる弊害について課題を見いだし、世界的背景と関連付けて多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。	幕藩体制が崩壊し、中央集権体制へ移行した過程と、近代国家に発展したことによる弊害に関する文献、統計などの諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追う方法を身に付けている。	幕藩体制が崩壊し、中央集権体制へ移行した過程と、近代国家に発展したことによる弊害に関する基本的な事柄を、世界の動向と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。
7	4 日露戦争と国際関係 5 近代産業の発展 6 近代文化の発達				
8	10章 近代日本とアジア 1 第一次世界大戦と日本 2 ワシントン体制	第一次世界大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響と、十五年戦争に発展した過程について課題意識を高め、意欲的に学習している。	第一次世界大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響と、十五年戦争に発展した過程について課題を見いだし、アジア諸国との関係にも着目して多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。	第一次世界大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響と、十五年戦争に発展した過程に関する文献、映像、統計などの諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追う方法を身に付けている。	第一次世界大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響と、十五年戦争に発展した過程に関する基本的な事柄を、国際社会と国内の政治・経済の動向と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。
9	3 市民文化 4 恐慌の時代 5 軍部の台頭 6 第二次世界大戦				
	第11章 占領下の日本 1 占領と回復	戦後の復興や経済発展を世界情勢とからめて理解する。	戦後日本の歩みと世界情勢の推移について、相互の動きを関連付けて多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。	戦後日本の歩みと世界情勢の推移に関する文献、映像、統計などの諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追う方法を身に付けている。	戦後日本の歩みと世界情勢の推移についての基本的な事柄を、世界の動向と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。

10	2 冷戦の開始と講和 第12章 高度成長の時代 1 55年体制				
11	2 経済復興から高度成長へ 第13章 激動する世界と日本 1 経済大国への道 2 冷戦終結と日本社会の動揺				
12 ~ 3	総合問題演習				センター試験過去問の自己採点 で、センター試験目標点数の9割 に到達している。 2次・私大の合格ラインまで達して いる。

評価方法: 前・後期共通

・ 考査および提出物や実力テストによる総合評価。

・ 評価は、社会的事象への「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「資料活用の技能・表現」、「知識・理解」の4つを単元ごとに行う。「関心・意欲・態度」は、授業の様子や発問に対する返答等から、「思考・判断・表現」は、各テストや授業の様子、資料の読み取りから、「資料・活用の技能・表現」および「知識・理解」は各テストや授業の様子から総合的に評価する。